

問1 種子が発芽するために、あたたかい温度が必要かどうかを調べるには、どのような方法で実験を行えばよいですか。

問2 インゲンマメなどが発芽してしばらくたったとき、しおれて小さくなっていく部分はどこですか。

問3 種子に水と空気を与えても、冷蔵庫の中のように冷たすぎる場所に置いておくと芽が出ないことがあります。これは、発芽に必要ななどの条件が足りないからですか。

問4 インゲンマメの発芽に「水」が必要かどうかを調べる実験をするとき、2つの容器で「変えなければならない条件」はどれですか。

問5 インゲンマメやトウモロコシなどの種子にふくまれている、発芽や成長のために使われる主な養分は何ですか。

問6 発芽した植物が、その後大きく丈夫に育つために、新しく必要になるものは何ですか。

問7 インゲンマメの種子が発芽するために水が必要かどうかを調べるには、どのような方法で実験を行いますか。

問8 植物に肥料をあたえて育てたとき、肥料をあたえずに育てたときと比べて、葉の数はどのようになりますか。

問9 種子の中にでんぷんがあるかどうかを調べるために使われる、特別な液の名前は何か。

問10 種子の中にある子葉には、どのような特徴や役割がありますか。

問11 植物が元気に育つために、どうしても必要なものは何ですか。

問12 種子にふくまれるでんぷんは、植物が発芽してしばらく成長すると、どのようになりますか。

問13 発芽に空気が必要か調べる実験をするとき、空気にふれさせるものとふれさせないものの間で、同じにそろえなければならない条件はどれですか。

問14 植物が元気に大きく育つために、土の中から取り入れる、成長を助ける栄養となるものは何ですか。

問15 種子が発芽するために必要な条件のうち、冷たすぎず、ちょうどよいあたたかさのことを何といいますか。

問16 植物の発芽や成長の条件を調べるときに、調べたい条件だけを変えて、それ以外の条件はすべて同じにして行う実験のことを何といいますか。